

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社ウチヤマホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6059 URL http://www.uchiyama-gr.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山文治
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役経営企画室長(氏名) 山本武博 (TEL) 093-551-0002
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	6,306	7.2	208	—	256	—	164	—
29年3月期第1四半期	5,885	4.7	△23	—	23	△21.4	2	△97.0

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 172百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △4百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	8.49	—
29年3月期第1四半期	0.14	0.14

平成30年3月期第1四半期の経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益の対前年同四半期増減率は1000%を超えるため「—」と記載しております

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	31,490	14,870	47.2
29年3月期	30,355	14,794	48.7

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 14,870百万円 29年3月期 14,794百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,120	8.1	586	171.5	570	62.9	380	81.7	19.69
通期	26,810	5.9	1,120	44.2	1,081	7.2	702	—	36.32

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 平成30年3月期の通期の親会社株主に帰属する当期純利益の対前期増減率は1000%を超えるため「—」と記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	21,618,800株	29年3月期	21,618,800株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	2,287,776株	29年3月期	2,287,776株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	19,331,024株	29年3月期1Q	19,487,621株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府の経済政策、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調にあります。欧米の政策の動向、北朝鮮やシリアなどの軍事衝突リスクなど海外情勢に不確定な要素も多くあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境下におきまして、当社グループでは、各セグメントで事業戦略に基づく営業活動等を積極的に推し進めてまいりました。また、介護事業、カラオケ事業、飲食事業間において、相互のシナジー効果を向上させるよう様々な取り組みを企画し実践するなどして、積極的にサービスの付加価値向上に努めました。

経費面におきましても、コスト削減を進めることで経営の効率化を行い業績の安定化を図りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,306,310千円（前年同期比7.2%増）、営業利益は208,339千円（前年同期は営業損失23,356千円）、経常利益は256,714千円（前年同期は23,234千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は164,026千円（前年同期は2,770千円）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

①介護事業

介護事業におきましては、6月に介護付有料老人ホーム「さわやかシーサイドくきのうみ」、障がい児通所支援事業放課後等デイサービス「さわやか愛の家せとうち館」「さわやか愛の家にはま館」を新規開設いたしました。これにより、当第1四半期末時点での営業拠点は83ヶ所155事業所となりました。既存施設におきましては、空室を減らすために、近隣の病院や居宅介護支援事業所への訪問による連携の強化を推進することで入居率の安定化を目指した結果、当第1四半期連結累計期間での既存施設の平均入居率は93.4%（前年同期既存平均入居率91.7%）となりました。これらの結果、売上高は3,893,498千円（前年同期比12.4%増）、セグメント利益は337,213千円（同46.0%増）となりました。

②カラオケ事業

カラオケ事業におきましては、ドリンクバーの利用促進を積極的に行い、学生層の獲得の強化に努めたほか、引き続きスマートフォン向けのモバイル会員の勧誘を行うなどしてリピート客の増加を図り、集客の向上に努めました。この結果、売上高は1,785,760千円（前年同期比5.5%減）、セグメント利益は110,627千円（同412.8%増）となりました。なお、当第1四半期連結累計期間において新規の開店は行っておりませんが退店を2店舗行ったことから、当第1四半期末時点での店舗数は94店舗となりました。

③飲食事業

飲食事業におきましては、既存店の業態変更を1店舗、カラオケ店舗からの業態変更を1店舗行った一方で退店を1店舗行ったことにより、当第1四半期末時点での店舗数は国内23店舗、海外3店舗となりました。既存店舗におきましては、集客が安定的に推移しました。また、新業態としてハイボール専門店「ハイボールバー銀天街1923」を北九州市小倉北区にオープンさせ、新たな需要の創出に努めました。この結果、売上高は435,273千円（前年同期比0.7%増）、セグメント損失は9,250千円（前年同期はセグメント損失14,181千円）となりました。

④不動産事業

不動産事業におきましては、販売用不動産の売買及び賃貸不動産の仲介業務等を中心に行っております。この結果、売上高は126,667千円（前年同期比144.9%増）、セグメント利益は35,112千円（同163.6%増）となりました。

⑤その他

その他におきましては、ホテル事業において、円安の影響による国内旅行の活性化に伴う需要の獲得を目指し、広告媒体を活用し宿泊客の増加に努めました。この結果、売上高は65,109千円（前年同期比34.9%増）、セグメント損失は7,956千円（前年同期はセグメント損失11,558千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ1,134,334千円増加し、31,490,210千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末より148,264千円増加し、13,320,115千円となりました。主な要因は、販売用不動産、流動資産（その他）が増加したこと及び現金及び預金が増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末より986,070千円増加し、18,170,095千円となりました。主な要因は、建物及び構築物、土地が増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ1,058,664千円増加し、16,619,642千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末より328,368千円増加し、6,585,025千円となりました。主な要因は、短期借入金、賞与引当金が増加したこと及び買掛金が増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末より730,296千円増加し、10,034,616千円となりました。主な要因は、長期借入金が増加したこと及び固定負債（その他）が増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より75,670千円増加し、14,870,568千円となりました。主な要因は、利益剰余金の親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加と配当金の支払による減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,249,929	9,019,574
売掛金	1,731,381	1,801,705
有価証券	5,003	-
商品	68,073	65,850
販売用不動産	1,049,738	1,173,155
貯蔵品	174	174
その他	1,080,688	1,273,357
貸倒引当金	△13,138	△13,702
流動資産合計	13,171,850	13,320,115
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,721,059	8,437,714
土地	3,629,089	3,843,306
その他(純額)	1,011,502	996,808
有形固定資産合計	12,361,651	13,277,829
無形固定資産	45,800	53,538
投資その他の資産		
その他	4,849,802	4,911,580
貸倒引当金	△73,229	△72,852
投資その他の資産合計	4,776,572	4,838,727
固定資産合計	17,184,025	18,170,095
資産合計	30,355,875	31,490,210
負債の部		
流動負債		
買掛金	347,593	279,879
短期借入金	844,600	1,115,720
1年内返済予定の長期借入金	2,225,201	2,302,332
未払法人税等	162,427	135,932
賞与引当金	235,260	362,630
ポイント引当金	229,762	194,396
株主優待引当金	11,815	11,815
資産除去債務	6,833	-
その他	2,193,162	2,182,318
流動負債合計	6,256,657	6,585,025
固定負債		
長期借入金	7,516,797	8,308,790
資産除去債務	214,653	228,072
その他	1,572,869	1,497,753
固定負債合計	9,304,320	10,034,616
負債合計	15,560,977	16,619,642

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,222,935	2,222,935
資本剰余金	2,666,282	2,666,282
利益剰余金	11,076,529	11,143,901
自己株式	△1,166,007	△1,166,007
株主資本合計	14,799,740	14,867,111
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,814	2,479
為替換算調整勘定	972	977
その他の包括利益累計額合計	△4,842	3,456
純資産合計	14,794,897	14,870,568
負債純資産合計	30,355,875	31,490,210

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,885,369	6,306,310
売上原価	5,481,570	5,683,184
売上総利益	403,798	623,125
販売費及び一般管理費	427,154	414,786
営業利益又は営業損失(△)	△23,356	208,339
営業外収益		
受取利息	1,575	1,414
受取配当金	24	22
受取手数料	22,041	34,664
その他	59,149	34,966
営業外収益合計	82,791	71,067
営業外費用		
支払利息	23,962	18,720
その他	12,238	3,972
営業外費用合計	36,200	22,693
経常利益	23,234	256,714
税金等調整前四半期純利益	23,234	256,714
法人税、住民税及び事業税	81,987	120,033
法人税等調整額	△62,473	△27,345
法人税等合計	19,514	92,688
四半期純利益	3,720	164,026
非支配株主に帰属する四半期純利益	950	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,770	164,026

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	3,720	164,026
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,594	8,294
為替換算調整勘定	△103	5
その他の包括利益合計	△8,697	8,299
四半期包括利益	△4,976	172,325
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,854	172,325
非支配株主に係る四半期包括利益	877	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	介護事業	カラオケ 事業	飲食事業	不動産 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	3,464,008	1,889,249	432,122	51,721	5,837,101	48,267	5,885,369	—	5,885,369
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	96	10,882	—	10,978	—	10,978	△10,978	—
計	3,464,008	1,889,346	443,004	51,721	5,848,080	48,267	5,896,348	△10,978	5,885,369
セグメント利益又は 損失(△)	231,028	21,571	△14,181	13,319	251,738	△11,558	240,179	△263,535	△23,356

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△263,535千円の内容は、セグメント間取引消去117,801千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△381,336千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	介護事業	カラオケ 事業	飲食事業	不動産 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	3,893,498	1,785,760	435,273	126,667	6,241,200	65,109	6,306,310	—	6,306,310
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	2,550	9,685	345	12,581	—	12,581	△12,581	—
計	3,893,498	1,788,310	444,959	127,012	6,253,781	65,109	6,318,891	△12,581	6,306,310
セグメント利益又は 損失(△)	337,213	110,627	△9,250	35,112	473,701	△7,956	465,745	△257,405	208,339

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△257,405千円の内容は、セグメント間取引消去120,854千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△378,260千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。